

「工場」「事業所」で活用可能な実践的省エネ事例を徹底的に！ 好事例を理解し、手足を動かす原動力に！

工場・事業所で“すぐできる”省エネ事例解説

本講座のコンセプト：省エネの見方・攻め方が理解できたら、あとは「ただひたすら、事例に学ぶ」！

日時：平成29年7月13日(木) 13:00～16:30

会場：電力ビル本館9F会議室2

住所：〒980-0811 仙台市青葉区一番町三丁目7番1号

主な受講対象者

- ・計画管理責任者
- ・計画推進責任者 に選任された(る)方
省エネ法における
- ・エネルギー管理統括者
- ・エネルギー管理企画推進者の方 等

講座概要

三相誘導電動機の70%以上が汎用ポンプ・ファンと圧縮機(空調機用含む)で占めています。

工場・事業所のユーティリティ設備は運用面での低効率化、オーバースペックが顕在化している現状から、設計基準・運用基準を実態に合わせた最適化のための電動機のダウンサイジング化・インバータ化等の可変速装備の積極的な採用により、電力消費量の30%以上の削減可能な省エネ効果が見込まれます。

現在、使用されている設備の高効率化・最適運転化・運転制御の改善等により既存の技術で大幅なエネルギー消費量の削減が可能です。

本講座では主として省エネ手法の汎用性が高いエネルギー供給設備、生産設備について、熱使用設備・電気使用設備の「お金をかけない省エネ」及び「費用対効果の大きい省エネ改善」について、「できない理由」を言う前に「どうしたら出来るか」を考え実行する省エネ改善例を中心に「事例に学ぶ」研修会を実施します。

カリキュラム

講師：一般財団法人 省エネルギーセンター
特任講師 村田 博 氏

※受講生の理解度等も勘案し、当日の講義内容が一部変更になる場合がございます。ご了承下さい。

第1編 省エネ対策の神髄

- ・「今使用している設備・製造プロセスが最善か」の疑問に立ち、エネルギー消費構造の見直しを図る。

第2編 工場・事業所の省エネ事例解説

- ・生産工場における共通設備(ボイラ、汎用ポンプ・ファン・空気圧縮機等運用改善。)
- ・製造設備(汎用設備)の省エネ改善事例。産業空調設備・工場照明の省エネ事例。
- ・エネルギー源としての蒸気・エア・用水の効率的使い方の事例及び環境改善による省エネ事例

第3編 中長期的な省エネ改善の取り組み ・電力ピーク対策、低コスト、汎用技術で大幅な省エネ改善テーマ・手法・事例紹介

受講要領

募集人数：20名(最少開催人数5名)

受講料(消費税込) 一般：14,040 円 賛助会員：11,800 円

1. 申込み方法

下記の参加申込書に記入後、ファックスまたはEメールにてお申し込み下さい。

2. 支払い方法

請求書がお手元に到着次第、指定口座にお振り込み下さい(振込手数料はご負担願います)。お支払期日は原則として、開催日の前日までです。また、実施1週間以内のキャンセルについては、理由の如何を問わず受講料はご請求いたします。(代理出席をご検討下さい)。

3. 申込み/問合せ先

一般財団法人 省エネルギーセンター 東北支部 担当/尾崎 E-mail : thk@eccj.or.jp
〒980-0811 仙台市青葉区一番町三丁目7番1号(電力ビル本館8F) Tel : 022-221-1751

7/13「工場・事業所で“すぐできる”省エネ事例解説」

受講申込書

平成29年 月 日

会社名・事業所名・所属部署名	<input type="checkbox"/> 賛助会員 (No. _____)	申込受付印
所在地 〒 _____	<input type="checkbox"/> 一般	
	<input checked="" type="checkbox"/> 支払い予定日 平成 29 年 月 日	
TEL : _____ FAX : _____	受付No. _____	参加者氏名(フリガナ) _____
連絡者氏名		受講料 _____ 円
eメール: _____	合 計	_____ 円

お申し込みは FAX : 022-221-1752 またはメール thk@eccj.or.jp まで